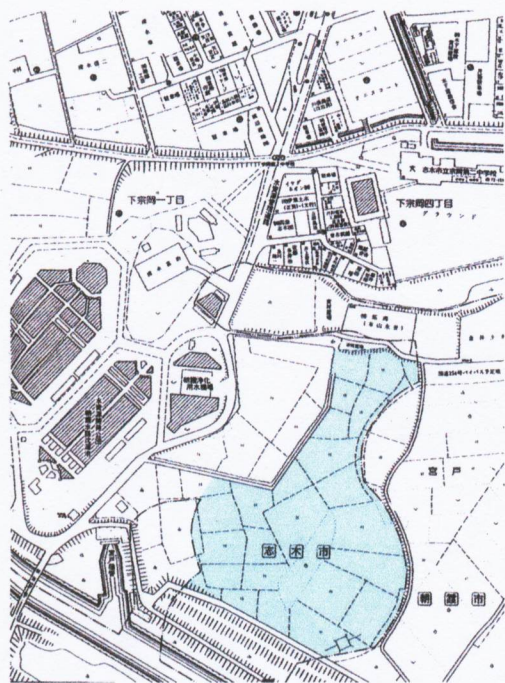


富士見シニア 下宗岡グラウンド



2006.11.30

富士見シニア 下宗岡グラウンド 落成の経緯



富士見市には市営球場が無く、硬式球で練習の出来るグラウンドは、荒川河川敷の「第1運動公園」A面・B面の2面のみで、毎月の抽選による、毎週末の限られた時間での練習しか出来ませんでした。

発足より20数年間練習場確保の為に毎月行われる抽選会に戦々恐々とした面持ちで月日を過ごし、グラウンド確保の手配等に於いては大変な苦勞をしてまいりました。

以前より神山会長を始め多くの方々に相談をしてきましたが、平成17年3月に当時の「富士見市議会議長」の柳田様より富士見市長のアドバイスで、今日の「下宗岡グラウンド」になる志木地区衛生組合(富士見市・新座市・志木市、以降組合)の用地を候補として挙げて頂きました。早速、組合へ相談のため出向いたところ、前向きに検討して頂く事ができ、その年の4月に協議が始まりました。

当初の意見では、用地の現状は水場の為、使用するには困難との意見がありました。そのため盛土をする必要があり、関係する各省庁とその年の6月、協議に入りました。8月に入り、各省庁の指示に従い工事のできる業者が選定の末、決定致しました。9月には業者による事業計画が各部署に対して申請作業に入りました。

そして工事の許可が下りたのは平成18年1月末でした。

〈工事に関する進捗の沿革〉



18年2月

敷地・境界調査、確認



18年2月

盛土用の土の搬入

大型ダンプ 3,000台分の土が
運び込まれました



平成18年2月～8月初旬
盛土工事



平成18年8月中旬
敷地・ネット・支柱工事
雨水配水工事



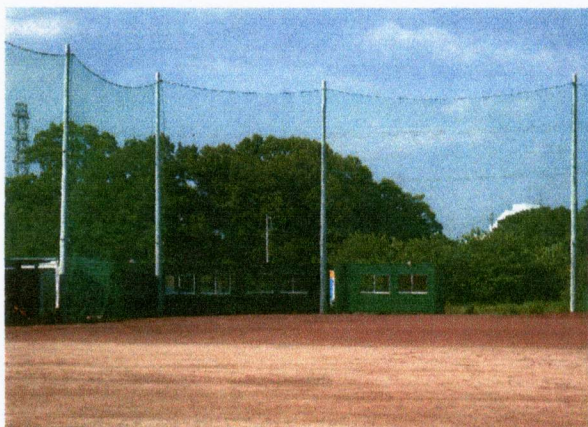
平成18年9月
建築物の工事



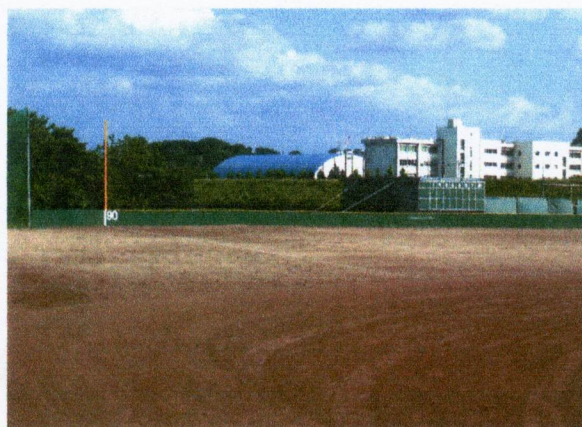
平成18年9月
植栽・外構工事

平成18年10月 工事完了
同11月30日 検査済使用許可証交付

〈完成した富士見シニア・下宗岡グラウンド〉



※センターからバックネット方向



※ホームからレフト方向



※一塁側からバックネット方向



※ホームからセンター方向



※サブグラウンド



平成18年11月、念願だった専用グラウンドが完成致しました。
工事に於いては、様々なご指導、ご配慮を頂きました。又、グラウンドの施設・設備に於いては、支柱から外野フェンス、ダッグアウト、塗装工事、ブルペン、防球ネット、植栽、トイレまでも、当チームの選手の保護者、OBの方々の職業を生かしたもののばかりです。まさに「手作り」と言っても過言ではありません。限られた予算の中、雨水対策も万全な立派なグラウンドができました。子供たちも、これからはこのグラウンドで、夢に向かって頑張ることでしょう